

農工団地の開発 小川地区に企業誘致



握手する高橋憲正九州支店長と阿曾田清市長

雇用機会創出・市税の増収・若年層の流出防止などのため宇城市の重要施策と位置付けている企業誘致を進展させるため、(株)奥村組九州支店が事業主体となり蓮仏(れんぶつ)農工団地を開発することとなりました。この蓮仏農工団地は小川町南部の蓮仏区・宮園区・表南小川区・日岳町区にまたがる約22haにおよぶ地域で、平成22年度末の完成を目指し工業用地の造成事業を行います。

6月20日、株式会社奥村組九州支店との基本協定の調印式が蓮仏区・津島昭生区長ほか3人の地元区長立会いのもとで行われました。調印後のあいさつで、阿曾田清市長は「民間の(資本・技術・営業などに関する)力を借りて行うということで、今後の開発行為のモデルに成るのではと期待している。立地条件を生かした誘致企業の受け皿作りに協力して取り組んでいきたい」と話しました。

豊川小で夏野菜の調理実習

豊川小学校(岩田護校長)5年1組では、子どもが野菜の苗を育てる体験を通じて、食の大切さと人と自然への感謝の気持ちを学ぶ味の素(株)の「食のガーデン」プログラムと連携して、ナス・ピーマンなど5種類の夏野菜を一人一鉢ずつ育ててきました。

6月21日には同プログラムの一つとして、夏野菜を使った「鶏とカラフル野菜のカレー煮込み」などの調理にチャレンジ。管理栄養士の石井多津子さんから調理方法や野菜の栄養について学び、39人の子どもたちは6班に分かれ実習しました。

野菜づくりの大変さを体験した後に、自分で調理した野菜の美味しさは格別だったようで、給食後だったにも関わらず全ての班が「完食」。担任の高洲香織先生は、「家庭訪問で親から野菜嫌いを相談された子が、おいしそうに生のニンジン食べているので驚きました」と語りました。



子どもたちは真剣に楽しく取り組んでいました

英会話科授業研究会



カードを使ってアルファベットを学ぶ児童たち

平成18年度にスタートした国際理解教育特区の取組みの一つである英会話科の授業研究会が6月29日に豊福小学校(藤本忠晴校長)で行われました。

5年2組の39人の子ども達は、外国の地図や写真などが飾られた英会話教室で英会話科講師の那須直美先生と学級担任の中村純一先生の指導の下、歌やゲームを通じて英会話にチャレンジ。話す・聞くことを重視し楽しく学ぶことを目指す英会話科は、子ども達に大人気で週に1回の授業を楽しみにしているとのことでした。

この日も、z・y・x...の順番にカードを箸で並べてリレーするゲームでは、アルファベットの順番がわからなくなったり、箸取りがうまくいかなかったり、悪戦苦闘しつつも笑顔と笑い声が絶えない授業でした。

日本での生活安全を確保 宇城市在住外国人とのつどい

6月24日、市内の企業や農家で研修や実習に取り組む、外国人と受け入れ先との交流を目的とした「第1回宇城市在住外国人とのつどい」が小川町農業構造改善センターでありました。

中国やインドネシアなどから3年間滞在する外国人110人が参加。午前の部で、「宇城市在住外国人友好協議会」の発足式があり、その後宇城警察署や市の担当者から交通ルールや防災時の避難方法を学びました。

午後の部では、松橋高校生による郷土芸能「仲町の茶わん鉢」のほかコーラス、大正琴やエレキバンドの演奏などがあり、カラオケ大会では日本の歌をみごとに熱唱。会場は大いに賑わいました。

参加者は「新しい友だちもできて、とても楽しかった。大正琴のきれいな音には感動した」と話していました。



地元の郷土芸能などで楽しむ参加者たち

自然体験・生活体験



みんなで手作りの旗を作成しました

「子どもの楽校」は、地域で子どもを育てる環境の充実、人間性豊かな青少年の育成を目的に自然体験・生活体験の場として、平成14年からスタートした松橋公民館活動で、登録ボランティア(代表:池田隆美さんほか22人)がスタッフとなり、今年は、そうめん流し・川の生き物観察会・収穫祭・紙飛行機づくりなどの活動を行います。

6月9日は、松橋公民館で開校式があり、小学校1年生から6年生までの参加者29人は4班に分かれ、それぞれの班の旗を手作りしました。続いて、さつまいも・落花生・綿花の苗を植える農業体験や、松橋町青年団員と野菜にちなんだクイズやゲームで楽しみました。 図 松橋公民館 ☎32-1080

小川町土地改良区 農地、農業施設の維持管理と環境保全

本年度からの新規事業「農地・水・環境保全向上活動」が小川町で実施されています。この事業は、地域内の農地、農業施設の維持管理と環境保全に取り組むもので、農家だけでなく非農家の方も参加し、地域内の農地・農業用水の資源や農村環境の良好な保全と質的向上を図ることを目的としています。

活動内容は、水路や農道の泥上げ、草刈りなど、地域内の農業用施設(水路・せき・樋門など)の見回り・点検、保全管理など。

また、地域内の環境問題について考える機会として、花の植栽やEM菌ダンゴを使用した水質浄化作戦などの取り組みも行っています。



花の植栽による環境保全活動